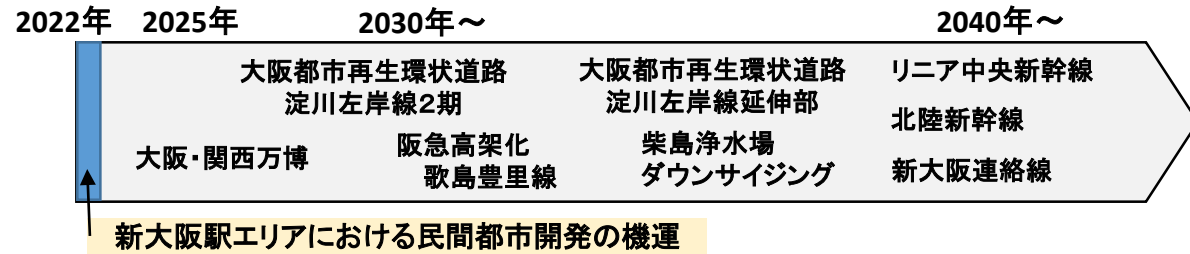


新大阪駅周辺地域のまちづくり

経過等

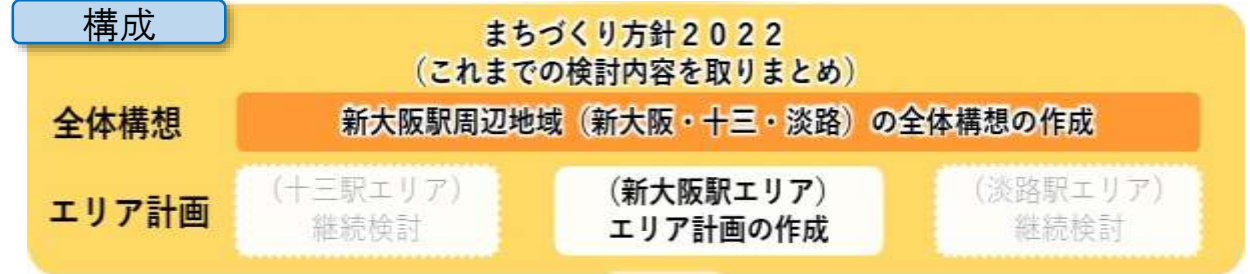
- H30.8 新大阪駅周辺地域が都市再生緊急整備地域の候補地域 公表
- H31.1 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 検討協議会設置
- R2.3 まちづくり方針の骨格 公表
- R4.2 まちづくり方針2022（全体構想、新大阪駅エリア計画）（案）作成
- R4年度 まちづくり方針2022策定
- 以降 都市再生緊急整備地域の指定

新たなまちづくりのインパクト



まちづくり方針2022(案)

※第6回検討協議会（2/7）資料から



全体構想

方向性
世界一の広域交通ターミナルのまちづくりの実現

担うべき役割

- スーパー・メガリージョンの西の拠点
- 広域交通のハブ拠点
- 関西・アジアのゲートウェイ

導入すべき都市機能

- 交流促進機能 国内外から多様な人と情報が集まり、新しい価値を生み出す
- 交通結節機能 日本・世界と関西をつなぎ、広域の人の流れを集めて、まちへつなげる
- 都市空間機能 シンボル性と、懐かしさをもつ、光・緑・水などによる居心地の良い空間形成

新大阪駅エリア計画

ビジネスや観光での駅からまちへの人の流れと、周辺から駅への人の流れが交わる駅から500m圏域（来訪者の徒歩圏）などを都市機能の向上を図るゾーンとし、駅まち一体の空間づくり（ハード整備）、人と人をつなぎエリアの活性化を図る取組み（ソフト施策）を進める。

